

# 令和5年度和歌山支部保険者機能強化予算案について

# 和歌山支部保険者機能強化予算にかかる経費について（令和5年度）

(単位:円)

事項	項番	新規・継続 事業の別	事業名	予算(案)	
支部医療費適正化等予算	医療費適正化経費	1	新規	お薬手帳カバーの作成	1,270,500
		2	新規	ジェネリック医薬品使用促進にかかる自治体の広報媒体活用	330,550
	小計				1,601,050
	広報・意見発信経費	3	継続	紙媒体による広報	2,754,400
		4	継続	地域情報紙とコラボ広報(LIVING和歌山)	528,000
		5	継続	「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出展	21,499
		6	継続	地域情報誌への広告掲載(まみたん)	400,400
		7	継続	県広報誌への広報	1,540,000
		8	継続	バス車両ラッピング広告による広報	528,000
		9	継続	バス車内放送広告	396,000
		10	継続	TV局のスポットCMの活用による広報	979,000
		11	継続	ラジオ広報の実施(ジェネリック医薬品啓発、健診等)	369,600
		12	継続	電子看板(映像)による広報の実施	567,600
		13	継続	広報コラムの作成業務委託	429,000
		14	新規	動画配信を活用した広報活動	990,000
15		新規	「和歌山ジャズマラソン」へのブース出店	142,079	
小計				9,645,578	
支部医療費適正化経費合計				11,246,628	
支部医療費適正化予算枠				(11月提示予定)	
支部保健事業予算	保健事業経費	16	継続	健康宣言事業所情報提供サポート事業	1,177,220
		17	継続	健康宣言事業所健康づくりサポート事業	1,621,829
		18	継続	健康経営セミナーの開催	589,600
		19	継続	同意書取得勸奨業務及び紙媒体による健診結果取得業務等の外部委託	7,975,000
		20	継続	協会主催集団健診(特定健診)の実施	6,076,400
		21	継続	自治体との連携による集団健診(特定健診+がん検診)の実施	1,082,950
		22	新規	付加価値を付与した女性向け集団健診の実施	1,567,500
		23	新規	対象者個人に対する生活習慣病予防健診の受診勸奨	1,138,500
		24	継続	生活習慣病予防健診の出張健診受診勸奨	798,600
		25	継続	令和6年度生活習慣病予防健診の案内(一斉発送)	467,280
		26	継続	令和5年度特定健診の案内(一斉発送)	1,184,480
		27	継続	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業	79,200
		28	新規	特定保健指導の利用勸奨	1,546,160
		29	継続	未治療者受診勸奨	172,265
		30	継続	重症化予防対策	1,983,608
		31	継続	歯科検診とのコラボによる特定保健指導の開催	244,626
		その他保健事業必要経費(健診実施に必要な費用等)			
保健事業経費合計				31,931,918	
保健事業経費予算枠				(11月提示予定)	
合計				43,178,546	

## <支部医療費適正化等予算>

### 1. 医療費適正化対策経費

事業名	1	お薬手帳カバーの作成			新規事業
実施概要	和歌山は年齢が高い層のジェネリック使用割合が低く、加入者拒否割合が高い地域も偏在している。お薬手帳の活用によるジェネリック希望意思表示の促進や重複投薬の防止を目的として、集団健診やイベント、加入者へのジェネリック使用促進勧奨の際に、保険証や診察券、限度額認定証が一括して入る「お薬手帳カバー」を配布する。なお、カバーには「ジェネリック医薬品を希望します」という文言を記載する。				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品の使用促進</li> <li>・お薬手帳の機能発揮による重複投薬の防止</li> <li>・加入者サービスの向上</li> <li>・加入者理解度の向上</li> </ul>	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			印刷製本費	924,000	お薬手帳カバー作成費用(@280×3,000冊×1回×1.1)=924,000円
			印刷製本費	346,500	使用促進リーフレット作成費用(@52.5×3,000部×2種×1.1)=173,250円
			合計	1,270,500	

事業名	2	ジェネリック医薬品使用促進にかかる自治体の広報媒体活用			新規事業
実施概要	ジェネリック医薬品の使用促進ならびに適正受診につながる行動に取り組んでもらうため、特に使用割合が低い県南部地域の主要2市(田辺市・新宮市)の市広報紙に有料広告を掲載し、全世帯へのジェネリックの啓発と普及を図る。				
期待される効果	支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			広告宣伝費	157,300	田辺市広報紙広告掲載料(@28,600×5回×1.1)=157,300円
			広告宣伝費	173,250	新宮市広報紙広告掲載料(@31,500×5回×1.1)=173,250円
			合計	330,550	

## 2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	3	紙媒体による広報	継続事業		
作成物	納入告知書同封チラシ ・事業主・事業所担当者への周知及び情報提供を目的とする	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			印刷製本費	1,415,700	@6.5円×18,000部×11か月×1.1(消費税)=1,415,700円
			小計	1,415,700	
			合計	1,415,700	
作成物	事業案内用カレンダー ・健康保険委員への情報提供を目的とする	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	1,173,700	@275円×3,880部×1.1(消費税)=1,173,700円
			小計	1,173,700	
			合計	1,173,700	
作成物	インセンティブ制度チラシおよびポスターの作成 ・インセンティブ制度周知による各種指標の向上を目的とする	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	165,000	@15円×10,000部×1.1(消費税)=165,000円
			小計	165,000	
			合計	165,000	
			合計	2,754,400	

事業名	4	地域情報紙とコラボ広報(LIVING和歌山)	継続事業		
実施概要	地域の情報紙(フリーペーパー)「LIVING和歌山」の健康情報コーナーを活用し、健診及び保健事業案内、協会けんぽイベント案内、ジェネリック使用促進、業務関係案内、インセンティブ制度等の周知等、情報提供を図る。				
期待される効果	和歌山市近隣地域及び、職域、その他の和歌山県内へ発行され、さらに地域ごとに絞ったチラシ折込も可能という特性から、地域を絞ったイベントや各種事業の広報を行うことができる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			広告宣伝費	528,000	半3段 (@40,000×1.1×12回)=528,000円
			合計	528,000	
			合計	528,000	

## 2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	5	「わかやま健康と食のフェスタ」へのブース出展			継続事業
実施概要	和歌山県保険者協議会の一員として、和歌山県の主催する「わかやま健康と食のフェスタ」にブース出展を行う。標記イベントは、和歌山県が健康推進や食育に携わる団体等と連携し、健康に関する特色ある活動の紹介や自らの健康状態を把握できる体験の場を提供することで、県民健康意識の高揚を図ること及び健康寿命の延伸につなげることを目的に実施されるもの。				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>協会(保険者協議会含む)の知名度向上</li> <li>保険者協議会との連携強化</li> <li>県民(加入者を含む)の健康増進(高血圧・動脈硬化等の生活習慣病につながる健康改善意識の向上)</li> </ul>	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			消耗品費	4,219	測定機器用プリンターインク(@3,835円×1パック×1.1)=4,219円
			消耗品費	17,280	測定機器用印字用紙(@1,600×3セット×1.1)+送料1,000円=6,280円+電源コード10,000円
			合計	21,499	

事業名	6	地域情報誌への広告掲載(まみたん)			継続事業
実施概要	和歌山市・岩出市・海南市・紀の川市の幼稚園・保育園(エリア内の80%をカバー)にて園児に直接配布される地域情報誌(子育て応援まみたん)の広告スペースに広報記事(4コマ漫画やアニメーション等の活用含む)を掲載し、園児の親世代に対して協会けんぽの様々な事業について広報を実施する。				
期待される効果	協会けんぽの事業の理解度向上、ジェネリック医薬品使用割合向上、限度額認定証の普及、マイナンバーカードの周知、健診の重要性の啓発、メルマガ登録数の向上等	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			広告料	400,400	広告掲載費 @91,000円×4回×1.1=400,400円
			合計	400,400	

事業名	7	県広報誌への広報(県民の友)			継続事業
実施概要	和歌山県の広報誌「県民の友」紙面内広告を活用し、健診及び保健事業案内、ジェネリック医薬品の使用促進及び保険料率改定の案内等、周知・情報提供を図る。				
期待される効果	和歌山県全域を網羅する広報誌として、効率的に加入者及び事業主に、直接事業案内や情報提供をすることができる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			広告宣伝費	1,540,000	中面下段縦6cm×横18cmサイズ(@350,000円×4回×1.1)=1,540,000円
			合計	1,540,000	

## 2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	8	バス車両ラッピング広告による広報				継続事業
実施概要	和歌山市内を走るバスにラッピング広告を掲載し、「健診受診促進」や「ジェネリック医薬品使用促進」の広報を行う。 和歌山県内の人口の約40%は和歌山市に在住しており、市内を走るバス広告は効果的。現在のラッピングを変更することも考慮する。					
期待される効果	・ジェネリック医薬品使用における意識啓発 ・支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上 ・健診受診率の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	330,000	側面広告 年間 300,000円×1.1=330,000円	
			委託費	198,000	制作施工撤去料金 180,000円×1.1=198,000円	
			合計	528,000		

事業名	9	バス車内放送広告				継続事業
実施概要	JR和歌山駅の最寄りのバス停「新地」の到着時に路線バス内の車内放送で乗客に対し「ジェネリック医薬品使用促進」等の事業案内の音声放送を実施する。これにより、協会けんぽの各事業に対する取り組みを乗客にアピールし周知を図るもの。					
期待される効果	・ジェネリック医薬品使用における意識啓発 ・支部におけるジェネリック医薬品使用割合の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			賃借料	396,000	広告費 月30,000円×12か月×1.1=396,000円	
			合計	396,000		

事業名	10	TV局のスポットCMの活用による広報				継続事業
実施概要	地元TV局のCM枠に、大規模イベントの参加に合わせ支部事業(インセンティブ等)について広報を行う。視聴率の望める有望な番組に、15秒CMを放映するもの。					
期待される効果	・協会けんぽの認知度向上 ・支部事業の認知度向上 ・健診受診率の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			広告宣伝費	451,000	CM静止画製作費@10,000円×1本分×1.1=11,000円、CM動画製作費@400,000円×1本分×1.1=440,000円	
			広告宣伝費	528,000	CM放映費@12,000円×20回×2×1.1=528,000円	
			合計	979,000		

## 2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	11	ラジオ広報の実施(ジェネリック医薬品啓発、健診等)	継続事業		
実施概要	インセンティブ、ジェネリック医薬品啓発、健診等の広報として、和歌山県内を網羅する地方ラジオ局のAMおよびFM放送にて、CM(約20秒)及びスタジオ生出演(10分×6回)を活用し、大規模イベントに合わせた支部事業広報、集団特定健診案内等イベントに合わせた広報を実施する。				
期待される効果	和歌山県全域に情報を提供することができる。また、スタジオ生出演を活用することで、より詳細な内容を親しみを込めて伝えることが可能であり、健診受診者率の向上やジェネリック使用割合向上が期待できる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			広告宣伝費	369,600	放送料@8,000円×3回/日×14日=336,000円×1.1=369,600円
			合計	369,600	

事業名	12	電子看板(映像)による広報の実施	継続事業		
実施概要	JR和歌山駅中にある「大型電子看板(デジタルサイネージ)」にて15秒の動画、静止画を放映し、大規模イベントに合わせた支部事業広報(インセンティブ等)や集団特定健診案内等イベントに合わせた広報を実施する。				
期待される効果	JR和歌山駅周辺を往来する加入者に電子看板を活用し情報を提供することができる。1日に38,000人が駅周辺を行きかうため、効果的に伝えることが可能であり、健診受診者率の向上やジェネリック使用割合向上が期待できる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			広告宣伝費	369,600	放映料@56,000円/月×6×1.1=369,600円
			広告宣伝費	198,000	動画製作費@180,000円×1×1.1=198,000円
			合計	567,600	

事業名	13	広報コラムの作成業務委託	継続事業		
実施概要	ホームページやメールマガジンに健康づくりに関するコラムを作成し、広報の充実を図るもの。健康づくりに役立つ情報を配信し、ヘルスリテラシーの向上を目的とする。				
期待される効果	・広報の充実 ・ヘルスリテラシーの向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	264,000	管理栄養士等によるコラム作成費用@20,000円×12か月×1.1=264,000円
			委託費	165,000	レシピ作成費用@50,000円×3回×1.1=165,000円
			合計	429,000	

## 2. 広報意見発信経費 その他の広報

事業名	14	動画配信を活用した広報活動				新規事業
実施概要	和歌山県の特徴として県内が南北に長く、県庁所在地から一番遠い市までの移動時間が片道4時間程度と研修会等の開催には非常に不便な状況である。その解決のため、動画配信により時間を気にせず、移動距離を気にしない広報を必要としている。					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の制約に関係なく、自由な時間に情報を受けることができる。</li> <li>・必要な情報を必要な時に、再度確認することができる。</li> <li>・研修会開催後に動画をアップすることにより、研修で分かりにくかった部分の再確認を行うことができる。</li> </ul>	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			広告宣伝費	330,000	初期費用(動画配信プラットフォームの作成)、作成物のアップロード	
			広告宣伝費	660,000	保守、運用サービス料(50,000円 × 12ヶ月)×1.1	
			合計	990,000		

事業名	15	「和歌山ジャズマラソン」へのブース出店				新規事業
実施概要	和歌山市が主催する市民マラソンにブース出店を行う。エントリーが約1万人規模の県内有数のスポーツイベントであり、健康に関する特色ある活動の紹介や自らの健康状態を把握できる体験の場を提供することで、県民健康意識の高揚と健康寿命の延伸につなげる					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会けんぽの認知度向上</li> <li>・県民(加入者を含む)の健康増進(高血圧・動脈硬化等の生活習慣病につながる健康改善意識の向上)</li> </ul>	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	47,300	出店協力金(@43,000×1回×1.1)=43,000円	
			リース・レンタル費	94,779	リース、備品費一式	
			合計	142,079		

## <支部保健事業強化予算>

### 3. 保健事業経費

事業名	16	健康宣言事業所情報提供サポート事業				継続事業
実施概要	定期的に健康宣言事業所に対し健康づくりに関する情報提供を行い職場内の健康づくりに役立てていただくもの。また、健康宣言事業所参加を増やすための勧奨を実施する。					
期待される効果	事業所及び被保険者の健康づくりへの参加、健康増進	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			印刷製本費	270,270	宣言事業所用サポートブック(@270×910冊×1.1)=270,270円	
			印刷製本費	906,950	「四季のけんこう」、チャレンジ運動勧奨用チラシ作成費一式	
			合計	1,177,220		

事業名	17	健康宣言事業所健康づくりサポート事業				継続事業
実施概要	健康宣言事業所に対し健康経営のサポートとして健康器具貸し出しや健康講座を開き従業員の健康づくりのサポートを実施する。					
期待される効果	事業所及び被保険者の健康づくりへの参加、健康増進	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	1,100,000	健康講座にかかる委託費用 @50,000円×20回×1.1=1,100,000円	
			委託費	521,829	出前講座委託費、健康測定器具測定器等リース費一式	
			合計	1,621,829		

事業名	18	健康経営促進セミナーの実施				継続事業
実施概要	オンライン形式による健康経営に関するセミナー等を実施し、健康経営を実践するよう啓発を行う。 あわせて、健康経営の実施手法としての健康宣言事業への参加や、実践目標としての健康経営優良法人認定制度の紹介、申請の勧奨を行う。					
期待される効果	参加事業所の健康経営への理解促進、健康づくりにつながる事業の実施。 健康宣言登録事業所および健康経営優良法人認定制度の申請事業所の増加	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			委託費	330,000	参加勧奨案内チラシの作成、封入封緘費用一式	
			委託費	259,600	会場費、セミナー運営委託一式	
			合計	589,600		

### 3. 保健事業経費

事業名	19	同意書取得勧奨業務及び紙媒体による健診結果取得業務等の外部委託			継続事業
実施概要	同意書提出勧奨業務及び健診結果(紙)提供勧奨業務等を全面的に外部委託することで、事業者健診データ取得率の向上を図る。				
期待される効果	平成30年度から継続して業務委託を行っており、事業者健診データ取得率は年々上昇している。引き続き外部委託することにより、取得率の向上が見込まれる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	7,975,000	同意書取得、データ作成委託費一式
			合計	7,975,000	

事業名	20	協会主催集団健診(特定健診)の実施			継続事業
実施概要	対象者が多い地域を中心に、自己負担無料の協会主催集団健診(特定健診)を実施する。 (予定対象地域:和歌山市、海南市、橋本市、紀の川市、岩出市、田辺市) また、申込率向上のため、健診会場において無料オプション検査もあわせて実施する。				
期待される効果	協会主催集団健診については、例年、1会場あたり100~250名の受診者が見込めるため、開催規模を拡大することで、特定健診実施率の向上が期待できる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	2,468,400	DM広報の印刷封入封緘作業委託費一式
			委託費	3,608,000	オプション検査人件費、検査機器費および健診会場費一式
			合計	6,076,400	

事業名	21	自治体との連携による集団健診(特定健診+がん検診)の実施			継続事業
実施概要	①「国保の特定健診とがん検診」の集団健診への乗り入れができない自治体(和歌山市、海南市、橋本市)において、それらの自治体と連携のうえ、「協会けんぽの特定健診とがん検診」の集団健診を実施する。 ②「国保の特定健診とがん検診」の集団健診への乗り入れができていない自治体のうち、申込の受付締切が早い自治体(紀の川市、みなべ町、上富田町、すさみ町)においては、それらの自治体と連携のうえ、年度前に案内を送付する。				
期待される効果	特定健診実施率の向上及び自治体との連携強化	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	900,900	①DM広報の印刷封入封緘作業委託費一式
			委託費・備品費	182,050	②DM広報の印刷封入封緘作業委託費一式
			合計	1,082,950	

### 3. 保健事業経費

事業名	22	付加価値を付与した女性向け集団健診の実施	新規事業		
実施概要	ホテルを会場に設定し、女性向けのオプションを充実させた集団健診を実施する。				
期待される効果	被扶養者の大半を占める女性をターゲットにすることで、実施率の底上げが期待できる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	247,500	圧着はがき:@15円×15,000部×1.1=247,500円
			リース・レンタル費	1,320,000	会場費:@1日400,000円×3日×1.1=1,320,000円
			合計	1,567,500	

事業名	23	対象者個人に対する生活習慣病予防健診の受診勧奨	新規事業		
実施概要	前年度において未受診の対象者個人宅へ、生活習慣病予防健診の受診案内を送付する。				
期待される効果	対象者個人へ直接勧奨することで、生活習慣病予防健診の実施率向上が期待できる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	1,138,500	DM広報の印刷封入封緘作業委託費一式
			合計	1,138,500	

事業名	24	生活習慣病予防健診の出張健診受診勧奨	継続事業		
実施概要	健診機関が不足しているエリアで出張健診を実施し、その受診勧奨を行う。				
期待される効果	健診機関が不足しているエリアでの生活習慣病予防健診の実施率向上が期待できる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	72,600	事業所あて圧着はがき:@22円×3,000部×1.1=72,600円
			委託費	726,000	被保険者あて圧着はがき:@22円×30,000部×1.1=726,000円
			合計	798,600	

### 3. 保健事業経費

事業名	25	令和6年度生活習慣病予防健診の案内(一斉発送)	継続事業		
実施概要	事業所に対して一斉発送する新年度(令和6年度)の健診案内に同封する支部独自印刷物を作成する。				
期待される効果	生活習慣病予防健診の受診率向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			印刷製本費	217,800	健診実施機関一覧表(A4、6頁Z折り):@11円×18,000部×1.1=217,800円
			印刷製本費	249,480	送付書(A4)、インセンティブレポート(A4)、共同利用周知チラシ(A4):@12.6×18,000部×1.1=249,480
			合計	467,280	

事業名	26	令和5年度特定健診の案内(一斉発送)	継続事業		
実施概要	年度当初に一斉発送する受診券に同封する支部独自印刷物を作成する。				
期待される効果	特定健診受診率の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			印刷製本費	248,160	送付書(A4):@4.8円×47,000部×1.1=248,160円
			印刷製本費	936,320	実施機関一覧表、集団健診日程表印刷一式
			合計	1,184,480	

事業名	27	和歌山県医師会との連携による特定健診受診促進に関する事業	継続事業		
実施概要	院内掲示用の特定健診案内ポスターを作成し、和歌山県医師会を通じて、各医療機関へ配布する。				
期待される効果	協会けんぽならびに特定健診制度の周知による特定健診実施率の向上	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			印刷製本費	79,200	A3サイズポスター印刷作成費:@120×600部×1.1=79,200円
			合計	79,200	

### 3. 保健事業経費

事業名	28	特定保健指導の利用勧奨				新規事業
実施概要	①特定保健指導に関する事業所および対象者への利用案内の実施。 ②情報通信技術(ICT)の使用による特定保健指導の遠隔面談の初回面談分割実施を行う。					
期待される効果	特定保健指導実施事業所の拡大および特定保健指導初回面談実施者数の増加	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			①印刷製本費、委託費	996,160	一式	
			②委託費	550,000	50件×委託費上限額10000円×1.1=550,000円	
			合計	1,546,160		

事業名	29	未治療者受診勧奨				継続事業
実施概要	健診受診後、要治療者に対し受診勧奨を実施する。					
期待される効果	早期受診による重症化予防	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			印刷製本費	12,265	案内勧奨チラシ・アンケート用紙作成用紙購入	
			委託費	160,000	未治療者への受診勧奨チラシ用デザイン委託一式(更新用) 2種 160,000円	
			合計	172,265		

事業名	30	重症化予防対策				継続事業
実施概要	①和歌山県版糖尿病性腎症重症化予防対策プログラムにあわせて受診勧奨およびハイリスク者への保健指導を実施する。 ②健診機関と連携し、健診当日に血圧高値者へ高血圧予防啓発リーフレットを配布し、医師または看護師等より早期受診を促す。					
期待される効果	早期受診による重症化の予防	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠	
			①印刷製本費	3,608	一式	
			②印刷製本費	1,980,000	リーフレット 90円×20,000部×1.1=1,980,000円	
			合計	1,983,608		

### 3. 保健事業経費

事業名	31	歯科検診とのコラボによる特定保健指導の開催			継続事業
実施概要	特定保健指導と合わせて、歯科検診を開催。年間2回程度 和歌山市内で開催する。 歯科検診を同日に行うことで、特定保健指導の集客につなげたい。 また、糖尿病重症化予防等に歯周病予防との関連があることから、歯科検診を通じて、歯周病予防につなげる。				
期待される効果	新たな特定保健指導の実施者の拡大につながる。 歯科検診で異常が発見された方の早期受診につながる。	経費の内訳	科目	予算額	算出根拠
			委託費	140,000	歯科検診費用一式 1回 70,000円 ×2回 = 140,000
			会場費	104,626	印刷製本費、会場費、機器リース料一式、
			合計	244,626	